

## 岐阜県福祉サービス第三者評価事業評価結果表

平成 31 年 4 月 1 日改正  
(平成 31 年 4 月 1 日適用)

### ①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 岐阜後見センター
--------------------

### ②施設・事業所情報

名称：障害児入所施設 山ゆり学園		種別：障害児入所施設	
代表者氏名：森本 雅樹		定員（利用人数）： 30（26）名	
所在地：高山市山田町831番地1			
TEL：0577-32-6154		ホームページ： <a href="https://www.hida-jikokukai.or.jp/publics/index/46/">https://www.hida-jikokukai.or.jp/publics/index/46/</a>	
<b>【施設・事業所の概要】</b>			
開設年月日 昭和42年12月1日			
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 飛騨慈光会			
職員数	常勤職員：	23名	非常勤職員
			4名
専門職員	（専門職の名称）		名
	施設長	1名	保育士
	事務	1名	職業指導員
	児童発達支援管理責任者	1名	介護員
	看護師	1名	栄養士
	ソーシャルワーカー	1名	調理員
	児童支援員	10名	
施設・設備 の概要	（居室数）		（設備等）
	個室	29室	

### ③理念・基本方針（※転載）

#### 理念

『ひたむきに「児童福祉」「障がい福祉」の充実を追い求め、彼らの暮らしと  
生命、そして権利を守ることを私たちの使命として、地域福祉に貢献します』

#### 基本方針

- 1、子どもの人権を尊重する
  - ・ 虐待を決して行わない
  - ・ 子供との約束を守る
  - ・ 名前を呼び捨てにしない
  - ・ 強制による指導をしない
  - ・ ひとりひとりに伝わるコミュニケーションに留意する

- 2、 子どもが安心して暮らせる生活の場を提供する
  - ・ 子供のいのちを守る自覚を持つ
  - ・ 小さな異常を見逃がさない感性を持つ
  - ・ 整理、整頓、環境美化に心がける
  - ・ 決められた安全確認の手順等を遵守する
  
- 3、 個性と能力に応じた適切な療育を提供し、将来、地域や家庭でのその人らしく、生き生きと暮らしていく力を育てていく。
  - ・ 援助の適切な時期、方法を見極める。
  - ・ 専門職としてスキルアップを心がける
  - ・ 子供の思いを尊重し、家族や地域と協力していく

#### ④施設・事業所の特徴的な取組（※評価機関において記入）

- ・ 学校での専用タブレットの使用に伴い、また、子どもたちの要望に応えるため、昨年度より通信機器を皆で共有しながら余暇時間に利用している。今後の有効活用に向けて、専門委員会を立ち上げ、子どもも職員も一緒に使用時のルールを学んでいる。
- ・ 思春期を迎え、多感な年頃の子どもたちのために、ひとり一人の特性や状況に合った性教育を行っている。同時に職員自身も学び、施設全体で「性」に対してどのように向き合い、取り組んでいくか議論している。
- ・ 自宅で暮らす子どもたちの支援のため、重度心身障がい児(者)を対象にした通園事業「ゆりのこ」において、生活介護、児童発達支援事業、放課後デイサービス、保育所等訪問支援事業等、多機能型支援事業を展開し、地域で暮らす子どもたちの支援の充実に取り組んでいる。

#### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和 4 年 4 月 2 2 日（契約日） ～ 令和 5 年 3 月 3 0 日（評価結果確定日）
受審回数(前回の受審時期)	0 回（令和 年度）

#### ⑥総評

##### ◇特に評価の高い点

<施設の協調型リーダーシップが発揮されている。>

園長は現場に身を置き、職員の意見に耳を傾け、ともに考える姿勢を持ち、職員のエンゲージメントを高めるとともに、職員チームとしての支援の方向性を示し、集団ダイナミクスの力を活用した支援に取り組んでいる。

<支援の質の向上に向けた取り組みを実施している。>

事業計画において支援の質の向上に関する基本姿勢を明示しており、基本的なマニュアル集を冊子にして職員に配布し、エビデンスに基づいた行動実践に努めるとともに、職員の支援の標準化に取り組んでいる。また、権利擁護研修をはじめ、様々な研修を計画的に実施し、支援の自己チェックを行って振り返るとともに、虐待防止委員会を設置し、ケース検討を通じて、より良い支援のあり方を探求している。

#### <子どもの意思を尊重した支援を行っている。>

ニーズオリエンテッドな観点から、子ども一人ひとりのニーズを第一に考え、それぞれの障がい特性や心身の状況に応じて、主体性や潜在力を引き出すとともに、思いに寄り添うケアに努めている。

#### ◇改善を求められる点

##### <職員の経営参画意識の向上に向けた取り組みに期待したい。>

支援の質の向上と経営管理の強化は相背馳する課題であるが、社会福祉基礎構造改革の流れの中で、利用システムが措置から契約に移り、社会福祉法人に経営の概念が取り入れられてきている。利用児ニーズについても、今後の変動を予測し、戦略的に複合的事業展開に取り組んでいく必要が出てきていると考える。その上で、職員も現場の支援の質の向上だけでなく、戦略的な経営管理についても関心を寄せていく必要があると考える。今後の経営のあり方について、より職員参画を促し、経営体質の強化に向けた取り組みに期待したい。

##### <公益事業活動の拡充に向けた取り組みに期待したい。>

社会福祉法人改革の流れの中で、今後、社会福祉法人の使命として、公益的な事業活動がますます重要になってくるが、地域の子どもの療育支援の拠点施設として、地域の公益ニーズを捉え、施設の専門性を提供できる方策の検討については、途上であり、今後の課題である。今後ともこの分野での活動の拡充に向けた取り組みに期待したい。

#### ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回の福祉サービス第三者評価の受審を通して、客観的にご意見・ご評価をいただいたことで、これまで自分たちの目では見えていなかった現在の利用者支援のあり方、置かれている立場等施設の見直しができる良い機会となりました。ありがとうございました。評価における良かった点や改善する必要のある点を職員間で話し合いを持ち、より良い施設となるよう改善に向けた取り組みを行うことで、今後も「選ばれる施設」となるよう努めていきたいと思っております。今後とも、地域に開かれた施設として、さらなる地域貢献に向けた取り組みを進めていきたいと考えています。

#### ⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

## 評価細目の第三者評価結果

### 評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

#### Ⅰ-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
Ⅰ-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
①	Ⅰ-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	Ⓐ・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>法人理念『～ひたむきに「児童福祉」「障がい福祉」の充実を追い求め、彼らの暮らしと生命、そして権利を守ることを私たちの使命として、地域福祉に貢献します～』が明文化されている。それを踏まえて、3つの基本方針が明文化されている。理念・基本方針は、支援計画書等に明記され、各職員に配布するとともに、職員会議等で説明を行っている。また、利用児・家族等に向けた周知については、ホームページ、パンフレットへの掲載や施設内掲示を行い、契約時その他機会を捉えて、説明を行っている。</p>		
改善できる点／改善方法：		

#### Ⅰ-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
Ⅰ-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
②	Ⅰ-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	Ⓐ・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>児童福祉動向については、関係団体の各種の研修に参加する等して情報収集に努めている。また、地域の福祉ニーズについては、関係機関との情報交流等、日常的な地域活動や地域の各種会議への参加等を通して把握に努めている。さらに、利用児状況の動向や施設の経営状況を分析し、持続可能な経営管理に取り組んでいる。</p>		
改善できる点／改善方法：		
③	Ⅰ-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	Ⓐ・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>利用児状況の動向や施設の経営状況を分析し、具体的な経営課題（入所ニーズ縮小への対応、複合的事業展開、地域小規模化、地域支援、人材確保・定着、職員教育、施設整備、安定した継続経営等）を明確化し、課題改善に向けた取り組みを行っている。</p>		
改善できる点／改善方法：		

### I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	㉑・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>法人の中・長期計画として、令和3年度～令和7年度に渡る5カ年計画を策定し、中・長期ビジョンを明確にしている。計画は、施設運営全般に渡る具体的な内容になっている。</p>		
改善できる点/改善方法：		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	㉑・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>中・長期計画を踏まえて、各年度単位に位置付けた事業計画を策定している。事業計画は、施設の基本方針を示し、5つの重点項目を定めた計画となっている。</p>		
改善できる点/改善方法：		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	㉑・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>事業計画は、各部署からボトムアップ式に職員の意見をくみ上げ、運営委員会等の各種会議を通じて策定をしており、組織的な取り組み体制ができている。また、職員会議等での説明を通して職員への周知を図っている。</p>		
改善できる点/改善方法：		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。	a・b・㉒
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>利用児・家族への周知については、行事計画等、必要に応じて開示している。また、ホームページでも経営計画を掲載している。</p>		
改善できる点/改善方法：		
<p>計画の利用児・家族への周知については、基本的には周知活動を行っていないので、今後、計画の要旨について、ルビを振ることや絵や写真を活用する等、工夫してわかりやすい資料の作成に向けた取り組みに期待したい。</p>		

## I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a・ <b>b</b> ・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>各部署、運営委員会での話し合いを通じて、サービスの質の向上に向けた取り組みを行っている。また、今年度は岐阜県福祉サービス第三者評価を受審している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p> <p>定期的な施設の自己評価を実施する仕組みを作るとともに、今後とも継続して、岐阜県福祉サービス第三者評価の定期的な受審に向けた取り組みに期待したい。</p>		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	<b>a</b> ・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>施設内で運営委員会等を通じて施設内でサービスの質の検証を行っている。また、岐阜県福祉サービス第三者評価の受審結果から把握した課題に対して、職員参画の下、改善策・改善実施計画を立案し、解決を図るべく組織体制を整備している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

## 評価対象Ⅱ 組織の運営管理

### Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>運営規程や事務分掌表において管理者の役割と責任について明文化し、職員会議等の機会を捉えて、表明する等して周知を図っている。災害等の有事の際における役割表においても明らかにしている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p> <p>管理者不在時の役割については、職員間で共通理解されているものの、明文化はされていないので、今後、明文化に向けた取り組みに期待したい。</p>		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	<b>a</b> ・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p>		

<p>児童福祉関連法や個人情報保護法等、事業運営を取り巻く関係法令に関する研修会に参加し、復命研修等を通して職員に報告・説明するとともに、職員への周知を図っている。また、職員会議での話し合いを通して、職員のコンプライアンス意識を高めるべく取り組んでいる。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
<p>Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。</p>		
12	<p>Ⅱ-1-(2)-① 福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。</p>	a・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 経営計画に明記された「～職員の専門性の向上～」の具体的な実践のため、園長は、業務を通じたコミュニケーションの中で、ともに考える姿勢で職員の意見聴取に努め、質の向上に活かしている。また、業務等の相談、助言や指導等に取り組む等、積極的にサービスの質の向上に向けた取り組みに指導力を発揮している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
13	<p>Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。</p>	a・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 園長は、職員育成、効率的な業務体制、ICT化の推進や書類の簡素化等、コスト・ベネフィットのバランス性を重視しつつ、経費節減の業務改善を推進するとともに、適正な職員配置に努める等、経営体質の強化に向けた取り組みを行っている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

## Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
<p>Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。</p>		
14	<p>Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。</p>	a・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 法人内に人財部を設置し、施設近隣の大学、高等学校、ハローワーク、求人サイトやホームページを活用した求人活動や、地元商工会議所のUターンシップサポーターズへの参加等、幅広く求人チャネルを拡充する等して人材確保に努めるとともに、各種研修や新人OJTの充実、資格取得の奨励、相談体制づくり等の定着対策も強化させている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
15	<p>Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。</p>	a・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 人事考課については法人で客観的な人事考課システムを整備し、総合的な人事管理を行っている。</p>		

また、「求められる職員像」やキャリアパスモデルを示し、職員が自ら将来の姿を描ける様な仕組みづくりに取り組んでいる。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>職員の有給消化率や時間外労働については定期的にチェックし、把握するとともに、職員の家庭事情に対応し、休暇が取得しやすいよう配慮している。また、定期的な面談を通して職員の意向や意見を聞き取る等、相談体制の充実に努めるとともに、ワーク・ライフ・バランスに配慮した働きやすい就業環境作りに努めており、職員エンゲージメントを高めている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>目標管理制度を導入しており、PDCAシートを活用して、期首の目標設定、期中のフィードバック面談、期末評価という一連のプロセスを循環させ、PDCAサイクルを回して、職員個々の育成に向けた取り組みを行っている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
18	Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>法人内に研修課を設置し、年間研修計画が策定されており、新人職員研修、OJT研修、法人内研修、外部研修等、様々な研修体制が確立している。現在は、コロナ禍の状況にあり、WEB研修やeラーニング研修も活用されている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
19	Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>新人職員一人ひとりに担当を付けてOJT研修、職員の職位に着目した階層別研修、テーマ別研修等の様々な研修を実施し、職員の研修機会を充実させている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		



20	Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>現在は、コロナ禍の状況にあり、受け入れが制限的であるが、例年は、社会福祉士、保育士、看護師等、各分野の実習生を積極的に受け入れており、実習生受け入れマニュアルを整備し、実習指導者を設置し、養成校と連携しながら職種別のプログラムを用意している。受け入れにあたっては、養成校と打ち合わせを行い、実習オリエンテーション、カンファレンスや振り返りを行う等して指導にあたっている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

### Ⅱ-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>ホームページで施設概要、サービスの内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報、現況報告書、福祉サービス第三者評価結果等、事業運営に係る情報を幅広く積極的に公開する等、運営の透明性の確保に努めている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
22	Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>法人で経理規程等を整備し、事務、経理、取引等についてルール化している。公認会計士（監査法人）の指導を受ける等、適正な運営に努めている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

### Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	Ⅱ-4-(1)-① 利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>経営計画の中で、「～地域支援の充実に取り組みます～」と明示されており、コロナ禍の影響で、地域交流への取り組みが困難な状況にあるが、できる限り地域行事への参加、地域への広報誌の回覧、近隣住民との日常的なふれあい等を通じて、地域とのつながりを持ち続けている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

24	Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a・ <b>㉔</b> ・c
<p>良い点／工夫されている点：          現在、コロナ禍の状況にあつて、今は受け入れが困難であるが、例年は、ボランティア担当者を設ける等、積極的に受け入れている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：          受け入れしているボランティア団体のメンバーの高齢化等により、継続が困難になってきているとのことである。新たな受け入れの仕組みやボランティア団体等の拡充に向けた取り組みに期待したい。</p>		
Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	Ⅱ-4-(2)-① 福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	㉕・b・c
<p>良い点／工夫されている点：          経営計画の中で、「～関係機関と現状の共有～」と明示されており、同種の施設「岐阜県立ひまわりの丘第一学園」との連携や、地域の相談支援事業所等の関係機関・団体との情報交換を図る等、関係機関・団体との連携強化に努めている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	Ⅱ-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	㉕・b・c
<p>良い点／工夫されている点：          地域の福祉ニーズについては、日中一時支援事業、短期入所事業の実施や、関係機関との情報交流等を通して把握に努めている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
27	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a・ <b>㉕</b> ・c
<p>良い点／工夫されている点：          地域の福祉ニーズに対応して、短期入所事業や日中一時支援事業を実施している。また、ホールその他、施設設備の貸し出しや、地域の福祉避難所としての役割を持つとともに、小・中学校での福祉授業の出前講座を行っている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：          今後、社会福祉法人の使命として、社会福祉事業にとどまらない地域貢献活動がますます重要になってくる。飛騨圏域の障害福祉の拠点施設の使命として、今後とも、地域ニーズの潜在的なニーズを把握に努め、公益的な活動のさらなる拡充に向けた取り組みに期待したい。</p>		

## 評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

### Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 利用者を尊重した福祉サービスについて共通の理解をもつための取組を行っている。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>基本方針の中で「～子どもの人権を尊重する～」を掲げ、支援マニュアル、支援計画に子どもを尊重する内容を盛り込んでいる。法人内に権利擁護・虐待防止委員会を設置し、内部研修を行うとともに、セルフチェックを実施して振り返りを行う等、不適切なケアの防止に取り組むとともに、不適切な関わり防止や権利擁護に関する意識を高めている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
29	Ⅲ-1-(1)-② 利用者のプライバシー保護等の権利擁護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>利用児のプライバシーを尊重する観点から、日常的な生活場面において利用児のプライバシー保護に留意した支援の実践に努めるとともに、各職員会議で話し合っている。また、虐待防止に関する研修を行い、権利擁護について職員間で理解を深めている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>ホームページは施設の内容や取り組みを掲載し、サービスを選択できるようわかりやすく工夫している。また、パンフレットを作成し、見学や体験利用の要望にも積極的に対応している。</p>		
改善できる点／改善方法：		
31	Ⅲ-1-(2)-② 福祉サービスの開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。	a・㉑・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>サービス開始にあたっては、重要事項説明書や資料でサービスの内容や利用方法、費用等をわかりやすく説明し、利用児・家族の同意を得て契約を締結している。</p>		
改善できる点／改善方法：		
<p>重要事項説明書等の資料は、ルビを振ったり、イラストや写真等を活用する等、よりわかりやすい資料の作成に向けた取り組みに期待したい。</p>		

32	Ⅲ-1-(2)-③ 福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点： グループホーム、障害者支援施設等の種別変更や家庭への地域移行が希望に応じて、できるようサービスの継続性に配慮した支援に努めている。退園後のアフターケアにも取り組んでいる。</p>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 毎年、子ども会の定期的な開催や日常的な支援の中でのコミュニケーションを通して要望や意見等をできる限り汲み上げるよう努めている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 苦情解決の体制や仕組みを整備しており、担当者、責任者や第三者委員等の外部の相談窓口についても重要事項説明書に記載し、説明している。園内の廊下に苦情解決の受付担当者、責任者、外部の第三者委員を明記したポスターを掲示し、周知を図っている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
35	Ⅲ-1-(4)-② 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 子ども会を通じて子どもたちの意見を汲み上げたり、日常的な支援の中で、気軽に相談できる体制づくりをしている。また、第三者委員による相談の場を設けたり、話しやすいスペースを確保する等、子どもが意見を述べやすいよう環境を整備している。</p>		
改善できる点／改善方法：		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 相談や意見に対しては、対応マニュアルを整備に取り組み、各棟会、運営委員会等の各種会議を通して検討し、迅速な対応に努めている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		

37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 緊急時の対応に必要な各種マニュアル等を整備し、リスクマネジメント体制を構築している。また、ヒヤリハットについては、報告を収集・分析し、改善策を作成して事故予防に努めている。さらに、運営委員会・各種職員会議等でリスクマネジメントについてケース検討を行い、職員の意識を高めている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 感染症対策委員会を設置し、感染症対策マニュアル等を整備し、講習会や感染症研修を実施する等して予防に努めている。看護師が配置されており、発生した場合の迅速な対応体制ができています。今年度も引き続き、新型コロナウイルス感染予防対策に力を入れている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 各種防災マニュアルを整備し、BCP(事業継続計画)を策定している。防災訓練・避難訓練等を実施し、災害時における利用児の安全確保のための取組を組織的に行っている。また、地域の福祉避難所として災害時の受け入れ体制を整えている。</p>		
改善できる点／改善方法：		

### Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 個々のサービスの標準的な実施方法については、個々のサービスに応じた各種マニュアルを作成し、職員周知に努めている。今後とも継続して、さらなる系統的なマニュアル整備の充実に向けた取り組みに期待したい。</p>		
改善できる点／改善方法：		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	㉑・b・c
良い点／工夫されている点：		

<p>毎年、現状の支援体制を踏まえ、各部署での会議の中で検証し、各種規程、各種マニュアル類の定期的な見直しを実施している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
<p>Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。</p>		
42	<p>Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく個別支援計画を適切に策定している。</p>	(a)・b・c
<p>良い点／工夫されている点：          統一した手順と様式を用いてアセスメントを行い、それに基づいて把握された支援ニーズや課題を明確にし、本人・保護者の意向を踏まえ、支援目標を具体的に明示し、個別支援計画を策定している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
43	<p>Ⅲ-2-(2)-② 定期的に個別支援計画の評価・見直しを行っている。</p>	(a)・b・c
<p>良い点／工夫されている点：          定期的に計画の評価・見直しを行い、常に質の高いサービス提供に努めている。見直しについては、児童発達支援責任者を中心に各関係職種の参画のもと、行っている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
<p>Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。</p>		
44	<p>Ⅲ-2-(3)-① 利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化している。</p>	(a)・b・c
<p>良い点／工夫されている点：          記録様式は統一した様式で、標準化されている。業務のICT化を推進しており、福祉業務ソフトを導入して、パソコンのネットワークシステムを整備し、職員間で情報を共有化している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
45	<p>Ⅲ-2-(3)-② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。</p>	(a)・b・c
<p>良い点／工夫されている点：          記録管理について保管・保存・廃棄に関する規程を定め、書類は鍵付きの保管庫に厳重に管理するとともに、データはサーバーで適切に管理している。また、個人情報保護規程を整備し、研修等を通じて個人情報保護の意識を高めている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		